



## 2021年6月期 第3四半期決算短信(日本基準)(連結)

2021年5月10日

上場会社名 株式会社ボルテージ  
コード番号 3639 URL <https://www.voltage.co.jp/>

上場取引所 東

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 津谷 祐司  
問合せ先責任者 (役職名) 経理本部長 (氏名) 大島 小百合

TEL 03-5475-8193

四半期報告書提出予定日 2021年5月13日

配当支払開始予定日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家・証券アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

### 1. 2021年6月期第3四半期の連結業績(2020年7月1日～2021年3月31日)

#### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2021年6月期第3四半期	5,210	9.1	140		147		119	
2020年6月期第3四半期	4,773	11.8	209		207		251	

(注) 包括利益 2021年6月期第3四半期 127百万円 ( %) 2020年6月期第3四半期 250百万円 ( %)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期 純利益
	円 銭	円 銭
2021年6月期第3四半期	18.64	18.63
2020年6月期第3四半期	45.97	

#### (2) 連結財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率
	百万円		百万円		%
2021年6月期第3四半期	3,523		2,594		73.5
2020年6月期	3,004		2,285		75.8

(参考) 自己資本 2021年6月期第3四半期 2,587百万円 2020年6月期 2,277百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2020年6月期		0.00		0.00	0.00
2021年6月期		0.00			
2021年6月期(予想)					

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

2021年6月期の配当予想は未定としております。

### 3. 2021年6月期の連結業績予想(2020年7月1日～2021年6月30日)

2021年6月期の連結業績予想につきましては、合理的な業績予想数値の算定が困難であることから記載しておりません。

#### 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無  
新規 社 (社名) 、 除外 社 (社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示  
会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無  
以外の会計方針の変更 : 無  
会計上の見積りの変更 : 無  
修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	2021年6月期3Q	6,513,675 株	2020年6月期	6,133,675 株
期末自己株式数	2021年6月期3Q	91,581 株	2020年6月期	91,581 株
期中平均株式数(四半期累計)	2021年6月期3Q	6,399,872 株	2020年6月期3Q	5,475,427 株

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績に関する説明 .....	2
(2) 財政状態に関する説明 .....	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記 .....	5
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	6
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間 .....	6
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間 .....	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 .....	8
(継続企業の前提に関する注記) .....	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	8
(セグメント情報等) .....	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、新型コロナウイルス感染症の影響により、依然として厳しい状況にあるなか、持ち直しの動きが続いているものの、一部に弱さがみられています。企業収益は感染症の影響があるものの、総じて持ち直しており、消費者マインドや実質総雇用者所得はこのところ持ち直しの動きがみられています。

また、モバイルコンテンツ業界においては、アプリストアの消費支出が2020年は1,430億ドルに到達、前年同期から20%増加し、過去最高を記録しました(注1)。

当社グループにおきましては、「日本語女性向け」「英語・アジア女性向け」「男性向け」「リアイベ」「電書・動画・コンシューマ」の5区分で事業を運営しております。

当第3四半期連結累計期間における売上は、「英語・アジア女性向け」が減少したものの、「日本語女性向け」「男性向け」等が増加し、5,210,394千円(前年同期比9.1%増)となりました。費用は、オフィス減少やリース料削減による賃借料が減少した一方、売上増加による販売手数料の増加や、イベント等の費用、派遣及び業務委託費用の増加による外注費の増加があったことにより、全体として増加しました。その結果、営業利益は140,584千円(前年同期は営業損失209,534千円)、経常利益は147,997千円(同 経常損失207,333千円)、親会社株主に帰属する四半期純利益は119,262千円(同 親会社株主に帰属する四半期純損失251,689千円)とそれぞれ黒字転換となりました。

事業区分別の業績は、以下の通りであります。

事業区分別の主要なタイトル名、及びその略称は次の通りです。なお、前第4四半期連結会計期間より、事業区分を変更しておりますので、以下の前年同期比較については、前年同期の数値を変更後の事業区分に組み替えて比較しております。

事業区分	分類	主要タイトル	略称
日本語女性向け	読み物型(注2)	100シーンの恋+ ダウト~嘘つきオトコは誰?~	100恋+ ダウト
	アバター型(注3)	天下統一恋の乱 Love Ballad 誓いのキスは突然に Love Ring 眠らぬ街のシンデレラ 鏡の中のプリンセス Love Palace 新◆王子様のプロポーズ Eternal Kiss 魔界王子と魅惑のナイトメア	恋乱 誓い シンデ ミラプリ 王子 魔界
	カード型(注4)	あやかし恋廻り	あや恋
	声優型(注5)	アニドルカラース	アニドル
英語・アジア女性向け	読み物型	Love365: Find Your Story(注6) Lovestruck: Choose Your Romance(注7)	Love365 Lovestruck
	カード型	Ayakashi: Romance Reborn	Ayakashi
男性向け	カード型	六本木サディスティックナイト	六本木
リアイベ (リアルイベント)	イベント・ライ ツ	「アニドル」キュアステージ	—
電書・動画・ コンシューマ	電子書籍	KISSMILLe~100シーンの恋チャット小説 ~(注8) ぼるコミ otonaシンデレラ	キスマイル — OCレーベル
	コンシューマ	Nintendo Switch向け「あやかし恋廻り」	—

- ①日本語女性向け  
日本語女性向けは、「読み物型」「アバター型」「カード型」「声優型」に分類して展開しております。  
「アバター型」「読み物型」が増加し、売上高は3,101,377千円（前年同期比8.0%増）となりました。
- ②英語・アジア女性向け  
英語女性向けは、「Love365」「Lovestruck」等が該当します。  
主に「Lovestruck」が減少したことにより、売上高は982,239千円（前年同期比7.1%減）となりました。
- ③男性向け  
主に「六本木」が増加したことにより、売上高は945,066千円（前年同期比24.2%増）となりました。
- ④リアイベ  
イベント・ライツが増加したことにより、売上高は120,103千円（前年同期比90.0%増）となりました。
- ⑤電書・動画・コンシューマ  
電書・動画・コンシューマは電子書籍（キスマイル、ぼるコミ、OCレーベル）及びコンシューマ（NintendoSwitch向けコンテンツ）が該当します。  
主にコンシューマが増加したことにより、売上高は61,606千円（前年同期比209.4%増）となりました。

## (2) 財政状態に関する説明

### (資産の部)

当第3四半期連結会計期間末の総資産は、3,523,063千円（前連結会計年度末比518,811千円増）となりました。

流動資産は、2,933,932千円（同281,390千円増）となりました。その主な要因は、新株予約権の行使等による現預金の増加371,273千円及び売掛金の減少112,183千円によるものであります。

固定資産は、589,130千円（同237,420千円増）となりました。その主な要因は、投資不動産取得等による投資その他の資産の増加179,480千円及びソフトウェア取得等による無形固定資産の増加34,022千円によるものであります。

### (負債の部)

負債合計は、928,407千円（同209,168千円増）となりました。

流動負債は、813,735千円（同94,496千円増）となりました。その主な要因は、賞与引当金の増加69,205千円及び買掛金の増加41,649千円によるものであります。

固定負債は、114,672千円（同114,672千円増）となりました。その主な要因は、長期借入金の増加114,672千円によるものであります。

### (純資産の部)

純資産は、2,594,655千円（同309,643千円増）となりました。その主な要因は、新株予約権行使によって資本金及び資本準備金がそれぞれ91,485千円増加したこと並びに親会社株主に帰属する四半期純利益の計上によって利益剰余金が119,262千円増加したことによるものであります。

## (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

当社グループの当面の成長戦略は、現在の基幹事業である「物語アプリ」に成長要素を取り込み「黒字基調&次の成長」を実現することです。具体的には、「アプリ進化戦略」「ファンダム(注9)戦略」「多角化戦略」の3つを実行いたします。

2021年6月期第3四半期末時点で事業多角化がある程度進捗したことを踏まえ、第4四半期以降は「多タイトル×多分野」の強みを追求し、「日本語女性向け再成長」と「新分野への投資増」を進めてまいります。

「日本語女性向け再成長」としては、4月より「ボル恋」「ボルパス」という2つの施策を展開しております。「ボル恋」は恋愛ドラマシリーズの新総称で、この総称でシリーズとしての訴求を強化してまいります。「ボルパス」はコンテンツ共通の会員ポイントサービスで、ユーザー

の楽しみを増やすことでLTV (注10) 向上を狙います。

「新分野への投資増」としては、リアイベ・電書・コンシューマといった新分野への投資を拡大してまいります。当社オリジナルの物語アプリIP (注11) を活かした、アプリ以外の新しい遊び方・楽しみ方の提供に努めます。

当期のパイプラインとしては、下表の通り、新規タイトル4本（うち3本投入済み）及びアプリ内新作8本（うち7本投入済み）のローンチを行う予定です。また、2021年4月に、「日本語女性向け」の「上司と秘密の2LDK Love Happening」を再始動（更新再開）しております。

#### 新規タイトル

事業区分	2020年6月期	2021年6月期	
	投入済	投入済	予定
日本語女性向け	2本	2本	—
英語女性向け	—	1本	1本
男性向け他	—	—	—

#### アプリ内新作

日本語女性向け	4本	1本	—
英語女性向け	7本	6本	1本

なお、業績予想については、当社グループを取り巻く事業環境の変化が激しく、信頼性の高い業績予想数値を算出することが困難であるため、非開示といたします。

- (注) 1. 出所：App Annie Inc. 「モバイル市場年鑑2021」2021年1月13日発表。  
2. 読み物型：ストーリーを楽しむことがメインとなるタイプのアプリ。  
3. アバター型：ストーリーをメインに、アバターなどのゲーム性を組み合わせたタイプのアプリ。  
4. カード型：カードの収集・育成要素を持つタイプのアプリ。  
5. 声優型：アプリ運用と並行し、声優陣を起用したリアルイベントやwebメディア露出等を積極的に展開するタイプのアプリ。  
6. Love365: Find Your Story：日本語版恋愛ドラマアプリを翻訳した海外市場向けコンテンツであり、1つのアプリ内で複数のタイトルが楽しめる「読み物アプリ」。  
7. Lovestruck: Choose Your Romance：SFスタジオ（米国サンフランシスコにある連結子会社）にて海外市場向けに制作した「読み物アプリ」。  
8. KISSMILLe～100シーンの恋チャット小説～：ボルテージの電子書籍事業の第1弾となる、投稿プラットフォーム型の「恋愛チャット小説アプリ」。  
9. ファンダム：作品へのポジティブな深い感情的なつながりから生まれたファン文化。当社グループのタイトルを消費するだけでなく、共感・応援するファン集団を指す。  
10. LTV：ある顧客から生涯に渡って得られる利益（Life Time Value）。  
11. IP：知的財産（Intellectual Property）。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2020年6月30日)	当第3四半期連結会計期間 (2021年3月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	1,530,928	1,902,202
売掛金	1,013,122	900,939
前払費用	67,598	54,511
その他	41,026	76,413
貸倒引当金	△134	△134
流動資産合計	2,652,542	2,933,932
固定資産		
有形固定資産	2,878	26,797
無形固定資産		
ソフトウェア	1,025	32,872
コンテンツ	—	2,175
無形固定資産合計	1,025	35,047
投資その他の資産	347,805	527,285
固定資産合計	351,709	589,130
資産合計	3,004,251	3,523,063
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	90,716	132,366
未払金	2,640	3,465
未払費用	520,451	481,428
未払法人税等	15,847	33,861
預り金	36,578	12,920
短期借入金	—	18,996
賞与引当金	6,805	76,010
その他	46,198	54,686
流動負債合計	719,239	813,735
固定負債		
長期借入金	—	114,672
固定負債合計	—	114,672
負債合計	719,239	928,407
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	1,159,229	1,250,714
資本剰余金	1,124,829	1,216,314
利益剰余金	81,519	200,781
自己株式	△100,222	△100,222
株主資本合計	2,265,356	2,567,588
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	△66	3,981
為替換算調整勘定	12,024	16,337
その他の包括利益累計額合計	11,957	20,318
新株予約権	7,698	6,748
純資産合計	2,285,012	2,594,655
負債純資産合計	3,004,251	3,523,063

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書  
(四半期連結損益計算書)  
(第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2019年7月1日 至 2020年3月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2020年7月1日 至 2021年3月31日)
売上高	4,773,680	5,210,394
売上原価	1,790,300	1,750,607
売上総利益	2,983,379	3,459,787
販売費及び一般管理費	3,192,913	3,319,202
営業利益又は営業損失(△)	△209,534	140,584
営業外収益		
受取利息	4,559	3,410
受取配当金	24	23
為替差益	—	5,834
投資有価証券売却益	604	852
不動産賃貸料	—	2,669
固定資産売却益	586	138
雑収入	832	2,865
営業外収益合計	6,607	15,794
営業外費用		
支払利息	—	454
為替差損	3,089	—
投資有価証券評価損	1,053	—
不動産賃貸費用	—	7,438
固定資産除却損	37	—
雑損失	227	489
営業外費用合計	4,407	8,382
経常利益又は経常損失(△)	△207,333	147,997
特別損失		
減損損失	41,905	—
特別損失合計	41,905	—
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	△249,239	147,997
法人税、住民税及び事業税	2,450	28,734
法人税等調整額	—	—
法人税等合計	2,450	28,734
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△251,689	119,262
親会社株主に帰属する四半期純利益又は親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	△251,689	119,262



(四半期連結包括利益計算書)  
(第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2019年7月1日 至 2020年3月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2020年7月1日 至 2021年3月31日)
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△251,689	119,262
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△978	4,048
為替換算調整勘定	2,078	4,312
その他の包括利益合計	1,099	8,361
四半期包括利益	△250,589	127,623
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△250,589	127,623

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

当第3四半期連結累計期間(自 2020年7月1日 至 2021年3月31日)

当社は、2019年12月23日付発行の第8回新株予約権(第三者割当による新株予約権)の行使に伴う新株の発行による払込みを受け、資本金及び資本準備金がそれぞれ91,485千円増加しております。

この結果、当第3四半期連結会計期間末において資本金が1,250,714千円、資本準備金が1,216,314千円となっております。

(セグメント情報等)

**【セグメント情報】**

当社グループは、モバイルコンテンツ事業の単一セグメントであるため、記載を省略しております。